



2022年5月10日

各位

会社名 日本製鉄株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 橋本 英二  
 (コード番号 5401、東証プライム、名証、福証、札証)  
 問合せ先 広報センター所長 有田 進之介  
 (TEL 03-6867-2135、2146、2977、3419)

### 2022年3月期通期業績と前期実績との差異に関するお知らせ

本日公表の2022年3月期の連結業績において、前期実績に対して差異が生じたので、下記のとおりお知らせ致します。

#### 記

#### 1. 2022年3月期通期連結業績と前期実績との差異

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前利益
前期実績(A) (2021年3月期)	百万円 4,829,272	百万円 110,046	百万円 11,381	百万円 △8,656
当期実績(B)	6,808,890	938,130	840,901	816,583
増減値(B-A)	1,979,618	828,083	829,519	825,239
増減率(%)	41.0	752.5	—	—
(ご参考) 前回発表予想(C) (2022年2月3日公表)	6,600,000	800,000	—	—
増減値(B-C)	208,890	138,130	—	—
増減率(%)	3.2	17.3	—	—

	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり当期利益
前期実績(A) (2021年3月期)	百万円 △19,327	百万円 △32,432	円 銭 △35.22
当期実績(B)	667,530	637,321	692.16
増減値(B-A)	686,858	669,754	727.38
増減率(%)	—	—	—
(ご参考) 前回発表予想(C) (2022年2月3日公表)	—	520,000	565.00
増減値(B-C)	—	117,321	127.16
増減率(%)	—	22.6	22.5

#### 2. 差異の理由

当期の業績については、昨年度に断行した抜本コスト改善による損益分岐点の大幅な引下げに加え、紐付き分野における価格の是正や一貫能力絞込みによる注文選択の効果、生産・出荷数量の回復、海外グループ会社の収益力向上、在庫評価差等により、前期実績に対し大幅に増益となりました。

詳細については、本日開示しております『2022年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)』及び『2021年度決算及び剰余金の配当(2021年度期末)について』をご覧ください。

以上